

各 位

会 社 名 株式会社アパールデータ  
代表者名 代表取締役社長 嶋村 清  
(JASDAQ コード番号 6918 )  
問合せ先 管理本部 部長 大関 拓夫  
電話番号 042 - 732- 1000

## 主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

平成23年2月24日付けで当社の主要株主である筆頭株主に異動がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 異動が生じた経緯

平成23年2月28日付けでザ・エスエフピー・バリュース・リアライゼーション・マスター・ファンド・リミテッドより大量保有報告書（変更報告書）が関東財務局に提出されたことを、2月28日付けで確認したことによるものであります。

#### 2. 主要株主及び筆頭株主でなくなる者の概要

- (1) 名 称 ザ・エスエフピー・バリュース・リアライゼーション・マスター・ファンド・リミテッド
- (2) 本店所在地 英領西インド諸島、ケイマン諸島、グランドケイマン、ジョージ・タウン、サウス・チャーチ・ストリート、ユグランド・ハウス、私書箱309GT エム・アンド・シー・コーポレート・サービスズ・リミテッド内
- (3) 代 表 者 取締役 グレゴリー・マッケンタイヤー
- (4) 主な事業内容 有価証券投資
- (5) 異 動 年 月 日 平成23年2月24日
- (6) 異動前後における所有議決権数（所有株式数）及びその議決権総数（発行済株式数）に対する割合

	所有議決権数 (所有株式数)	議決権総数（発行済株式総 数）に対する割合	大株主順位
異動前 (平成22年8月31日現在)	15,402個 (1,540,200株)	20.79% (19.10%)	第 1 位
異動後 (平成23年2月24日現在)	0個 (0株)	0% (0%)	—

- (注) 1. 当該株主の所有議決権の数は、異動前については平成22年9月7日に関東財務局に提出された平成22年8月31日付け変更報告書において記載された株式数であります。
2. 当該株主の所有議決権の数は、当該株主の共同保有者でありますマネージド・アカウント・インベストメント・エスピーシーの保有分2,895個が含まれております。
3. 上記に記載した議決権総数に対する割合は、下記に基づき算出しております。  
異動前：平成22年9月30日現在の株主名簿に基づく議決権の数（74,071個）に対する割合。  
異動後：平成22年9月30日現在の株主名簿に基づく議決権の数（74,071個）に対し、平成23年2月24日に行われた自己株式の取得により減少した議決権の数（15,543個）等を減算した議決権の数（59,088個）に対する割合。
4. 平成22年9月30日現在の発行済株式総数 8,064,542株

3. 新たに主要株主である筆頭株主となる者の名称等

- (1) 名 称 株式会社ニコン
- (2) 本店所在地 東京都千代田区有楽町1-12-1
- (3) 代表者 取締役社長 木村眞琴
- (4) 主な事業内容 精密、光学機器の製造、販売
- (5) 異動年月日 平成23年2月24日
- (6) 異動前後における所有議決権数（所有株式数）及びその議決権総数（発行済株式数）に対する割合

	所有議決権数 (所有株式数)	議決権総数（発行済株式総 数）に対する割合	大株主順位
異動前 (平成22年9月30日現在)	12,934個 (1,293,400株)	17.46% (16.04%)	第2位
異動後 (平成23年2月24日現在)	12,934個 (1,293,400株)	21.89% (16.04%)	第1位

(注) 1. 当該株主の所有議決権の数は、異動前については平成22年9月30日現在の株主名簿において記載された株式数であります。

2. 上記に記載した議決権総数に対する割合は、下記に基づき算出しております。

異動前：平成22年9月30日現在の株主名簿に基づく議決権の数（74,071個）に対する割合。

異動後：平成22年9月30日現在の株主名簿に基づく議決権の数（74,071個）に対し、平成23年2月24日に行われた自己株式の取得により減少した議決権の数（15,543個）等を減算した議決権の数（59,088個）に対する割合。

3. 平成22年9月30日現在の発行済株式総数 8,064,542株

4. 新たに主要株主である筆頭株主となる者に関する記載内容は、主要株主及び筆頭株主でなくなる者に関する異動によるもので、この者の所有株式数に変更はございません。

4. 今後の見通し

本件主要株主及び筆頭株主の異動による業績への影響はございません。

なお今回の異動により、当社が自己株式として取得した株式数が増加しておりますが、今後の資本政策における有効な手段として機動的に活用してまいります。

以 上